

群青

仙台市立第一中学校

第2学年だより

第14号 2023.10.6

無事学期末を迎えることができました

再任用教員として臨んだ本年度、おかげさまで体調を崩すこともなく半年を過ごすことができました。仕事でありながら、子どもたちには諸行事や日常生活の中で、輝く姿・表情をたくさん見せてもらい、改めて再任用教員を希望して「よかった」と心から思っています。「よい思い出を残してほしい」「光り輝いてほしい」という思いを抱きながら子どもたちと接していますが、これからもその思いを胸に、努めていきたいと思えます。

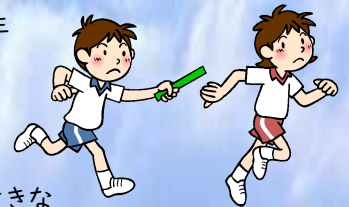
年度当初に実施した野外活動、あの行事で培われたよいムードが、私たち「青」学年にとって新年度のよいスタートを切る大きなきっかけになったと思っています。あの日の勢いのまま過ごしてきた半年、もちろん何も起こらない日はありませんでしたが、諸行事、諸活動を通し、子どもたちは日々めざましい成長を遂げてきたと思います。

これからは、いよいよ「進路目標」の実現に向かうこととなります。卒業後の自分、将来の自分の姿を見据え、互いにその目標が叶うよう、皆が安心して生活することのできる環境を子どもたちと共に築いていきたいと思えます。

終業式学年代表発表「1学期を振り返って」 2組 M.S

2年になって約半年が経ち、中学校生活ももう残り半分になろうとしています。この半年間で、私は様々な経験をし、多くのことを学びました。その中で、自分の成長に大きくつながったことがあります。

一つ目は、学習と部活動の両立です。今年は部活動に力を入れ、中総体ではリレーと走り幅跳びに出場することができました。自主的に練習をしたり、日常生活の中でも正しい動きを意識したり、常に陸上競技について考え続けたことが良い結果につながり、大きな自信ができました。しかし、一方では学習時間が減少し始めました。そこで私は、朝に学習することを始めたり、スキマの時間を有効に利用するなどして学習時間を捻出しました。それにより、効率よく勉強できるようになり、部活動との両立ができるようになりました。



二つ目は、自分で言うのは恥ずかしいのですが、学級委員の活動を通し、自分の中で少し責任感が増したように感じています。去年も学級委員として活動しましたが、1年の頃は不安も多く、自分がクラスをまとめることができるのかと思っていました。そして、クラスの仲間への声がけや、コミュニケーションが足りず、後悔することが多くありました。その経験から、後悔しないよう責任を持って仕事をしてきました。困ったことがあったら助けてくれる友だちや素晴らしい環境に恵まれ、とても充実した日々を過ごすことができました。去年の反省を生かして、多くの人と良いコミュニケーションをとったり、大きな声を出すことに挑みました。自分を成長させてくれた仲間や環境には感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、話は変わりますが、もうすぐスポーツフェスティバルが行われます。私は、去年スポフェスの4日前に、転んで大けがをしてしまいました。リレーでは1走目を務める予定でしたが、走ることは叶わずとても悔しい思いをしました。何より、直前の急な欠場により、クラスみんなに迷惑をかけてしまったことを今でも申し訳なく思っています。自分の不注意でチャンスをつぶす、そんなばかげたことはもうしません。今年は絶対に出場し、精一杯頑張るつもりです。

「ありがとう」「すみません」の励行

毎朝、副担任が4階の廊下を掃除しています。この埃(ほこり)は、毎日毎日一体どこからやってくるのだろうと首をかしげるほどの量が集まり、朝の欠かせない作業になっています。多くの子どもたちは、その作業を見ながら「おはようございます」と朝の挨拶をしていますが、その中で「先生、毎日お疲れ様です。ありがとうございます。」と言ってくれる子がいます。この一言で、苦勞が報われ、どれだけ心が潤うことか…話してくれた副担任の表情はとてもとても清々しく、嬉しそうでした。

そして、最近の授業中のある行為も話題になりました。プリントを集めた子が、担当に提出する際、ほとんど毎回プリントをトントンと整え、担当に向けてプリントの向きを変え、「お願いします(ペコリ)」という仕草で提出する子がとても多いことも話題になりました。常々「ありがとう」「すみません」という相手に敬意を抱く行為が人としてとても大切だと思っています。簡単なようで、相手の心を揺さぶることはそう簡単なことではないと思います。ご家庭、小学校…どこで培われた習慣なのか、ただただ感心させられました。そんな何気ない行為や人柄が人間関係を構築し、集団にもよい雰囲気を生むのだと改めて考えさせられました。

授業参観、保護者会へのご出席ありがとうございました

先月29日(金)標記の会を実施しました。ご来校いただきました保護者の皆様、多数のご参加ありがとうございました。授業開始前、校庭の自転車置き場はアツという間に満杯になり、関心の高さがうかがえました。「青」学年の保護者の皆様にとりまして、教室での授業の様子をご覧いただくのは、子どもたちの中学校入学以来初めてのことでした。保護者の皆様が教室や廊下にひしめく光景を久しぶりに見て、とても懐かしい思いがしました。お忙しい中、学年保護者会・学級懇談会にもご出席いただき、午後の時間が盛会のうちに終了しました。



10月24日(火)に、本校校庭でスポーツフェスティバルを実施します。昨年度はコロナ禍の影響でご覧いただくことは叶いませんでしたが、現段階では全保護者の皆様にご覧いただきたいと考えております。また学校に足をお運びいただき、子どもたちの輝く姿をご覧いただきたいと思っております。

各部の新学期です

校友会の役員選挙があり、いよいよ一中のリーダーとしての取り組みが始まったことは、前号でお伝えしましたが、部活動では既に新たなリーダーのもと、運動部は新人戦、学芸部はコンクール等に向かっていきます。日々献身的に活動している各部の部長を紹介します。

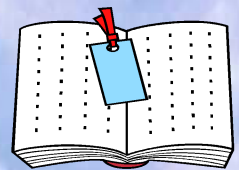
野球部	O. K	4組	ソフトボール	M. S	3組	サッカー	K. K	4組
テニス男	H. A	4組	テニス女	T. N	7組	陸上	A. S	5組
剣道	O. T	2組	卓球男	M. K	2組	卓球女	S. A	4組
バスケ男	K. F	4組	バスケ女	O. C	2組	バレー	D. M	1組
バド男	C. S	2組	バド女	S. W	3組	科学	S. M	2組
吹奏楽	T. Y	7組	美術	K. C	5組	PC	未定	
合唱	未定							

祝 合唱団(部) 全日本合唱コンクール金賞(全国大会進出)

今学期末、各大会・コンクール等での入賞の知らせが届きましたのでお知らせします。

- ◆全日本合唱コンクール東北支部大会：金賞受賞(一中7年ぶりの全国大会進出)
→全国大会10/29(日)香川県高松市
- ◆駅伝競走大会宮城県大会 男子総合：11位 区間賞：2区第2位 M. D(5組)
- ◆仙台市児童・生徒理科作品展
部会長賞：M. Y「塩麴のはたらき・なぜ肉を柔らかくするの」
※M君は2年連続の受賞
審査員特別賞：科学部(I. K, O. K, O. K, S. M, S. M, T. K)
「教室での効率的な換気方法を調べる実験～ミニ教室で試してみる～」
※作品は、10/7(土)～15(日)第69回仙台市児童生徒理科作品展(仙台市科学館)に展示されます

9/30 天声人語



- ▼雑誌「暮らしの手帖」は1948年の創刊前、取次会社からその雑誌名にダメ出しを受けた。暮らしは暗し。イメージがよろしくない。抗うように編集長の花森安治は、自らの筆で表紙や挿絵にランプの絵を何度も描いた。世の中にあかりを灯したいという一心で。「もう二度と戦争を起ささないために、一人ひとりが暮らしを大切にする世の中にしたい」そんな理念を掲げた雑誌が今月で創刊75周年を迎えた。
- ▼外からの広告を一切載せてこなかった。紙媒体が次々と消えていく中で、よくぞ。「意志をいささかも曲げることもなく、かつ、高いも十分に成り立っていく(略)一種の勇気を与えてくれそうに思われる」とは、詩人・茨木のり子氏による1973年の評だが、その思いは今こそ強まる。
- ▼自分たちの手で試す。徹底ぶりが伝説と化した商品テストの企画は、逸話の宝庫だ。ベビーカーの丈夫さを調べた回では、子どもとほぼ同じ重さを乗せた7人が皆100歩歩いた。
- ▼リングの木箱を解体して椅子に作り替える創刊直後の記事から、最新号の特集「ずっと、食べていく」まで。衣食住に根っこを張り、そこから物事を考えるという一貫した姿勢には、居住まいを正せられる。
- ▼美しいものはお金やヒマとは関係がない、と花森は創刊号で書いた。「みがかれた感覚と、まいにちの暮らしへのしっかりした眼と、そして絶えず努力する手だけが、一番うつくしいものをいつも作り上げる」。その言葉は古びていない。

